

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取り組みに 関するアンケート調査のご報告

1. アンケート実施概要

- ・ 実施主体: 特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構
(WEB ページ: <https://tam-en.org/>)
- ・ 協力: 丹波市教育委員会
- ・ 調査の目的:
学校と地域の協働に向けて、学校と地域の連携体制、お互いの課題やビジョンの共有、学校と地域のつながりづくりの実施状況の把握、また、それらの取り組みにおける課題を把握すること。
- ・ 実施期間: 令和5年7月22日(土) ~ 8月8日(火)
- ・ 調査対象: 学校運営協議会が設置されている丹波市内の小学校21校、中学校5校
(山南中学校は、学校運営協議会を設置していないため、調査対象外)

【小学校 21校】

柏原地域: 崇広小学校/新井小学校

山南地域: 上久下小学校/久下小学校/小川小学校/和田小学校

氷上地域: 南小学校/中央小学校/西小学校/北小学校/東小学校

青垣地域: 青垣小学校

市島地域: 竹田小学校/前山小学校/吉見小学校/三輪小学校

春日地域: 春日部小学校/大路小学校/進修小学校/黒井小学校/船城小学校

【中学校 5校】

柏原中学校/氷上中学校/青垣中学校/市島中学校/春日中学校

- ・ 調査方法: Google フォームを活用したウェブフォームの送付・回答またはメールによる送付・回答

2. アンケート調査結果のポイント(アンケートから分かったこと)

- ① 学校と地域の連携・協働の学校側の主担当は、校長・教頭に集中
- ② 学校と地域の連携・協働の地域側の主担当は、学校支援コーディネーターが最も多く、地域学校協働活動推進員が最も少ない
- ③ 小学校には、地域のビジョンや計画が共有されているが、中学校はそうではない
小学校においては、地域側からビジョンや計画について共有を受ける機会が多い傾向にある。中学校においては、地域から説明を受ける機会が十分にならないと考えられる。
- ④ 小学校では、地域活動に参加する機会が多く、中学校はより主体的な参画がある
小学校では、それぞれの小学校区において地域活動に参画する機会があることが分かった。中学校では、小学校と比較するとより、参加するだけでなく、ボランティアスタッフや出演者としてより主体的な関わりがあることが分かった。
- ⑤ 中学校よりも小学校の方が、地域との連携が進んでいると考えられ、中学校では進んでいない要因を検証する必要がある
- ⑥ 小中学校ともに、地域学校協働活動推進員の役割が学校側に十分理解されていない
教育委員会からの地域学校協働活動の意義についての説明が十分ではなく、学校と地域の連携・協働を担うコーディネーターの役割についての説明が不十分であると考えられる。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進により、学校、教職員、児童・生徒、保護者、地域住民にとってどのようなメリットや効果があるのか、丁寧な説明が必要である。
- ⑦ 小学校の方が PTA との連携ができているという認識が高いが、できていないと感じている学校もあり、どのようなことが要因なのか検証が必要である
- ⑧ 学校図書館の機能が不十分であり、特に「情報センター」の機能が不十分な小学校が多い
「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」の機能のすべてにおいて、「機能していない・どちらかというとな機能していない」と回答した小学校は 3 校であった。「情報センター」については、7 割を超える小学校が「機能していない・どちらかというとな機能していない」と回答。
- ⑨ 学校司書の配置に向けたアクションが必要
司書の配置の必要性を感じている小学校が 7 割を超えている。学校図書館の環境整備や学校司書等の人材の配置が十分ではない。

3. アンケート調査のまとめ

○学校運営協議会での部会設置は 小学校14校(66.7%) 中学校2校(40%)

学習支援、登下校の見守り、地域交流をテーマにした部会が設置されている。一方で、効率的な運営のためや必要性を感じないという理由で、部会を設置していない学校もあった。

○学校運営協議会以外の場において、地域住民に対して学校運営のビジョンや基本方針を説明・共有する機会を設けているのは、小学校 16 校(76.2%)、中学校は 3 校(60%)

学校に行くのはハードルが高いと感じる住民もあり、学校運営のビジョンや基本方針について、地域住民に広く伝わっているとは言えないと考えられる(参考:丹波市が実施した「令和4年度 丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査」によると、「地域学校協働活動という言葉を知らない」と回答した方は 74.4%)。

○地域側から地域づくりのビジョンや計画について「説明・共有を受けたことがある」のは、小学校 15 校(71.4%)、中学校 2 校(40%)

「ない」は、小学校 4 校(19%)、中学校 1 校(20%)

「分からない」は、小学校 2 校(9.5%)、中学校 2 校(40%)

○学校と地域がそれぞれの課題をお互いに「把握できている」、「どちらかといえはできている」のは、小学校 17 校(81%)、中学校 2 校(40%)

○PTA 活動とコミュニティ・スクールの連携については、「できている」、「どちらかというできている」のは、小学校 17 校(81%)、中学校が 3 校(60%)

「できていない」、「どちらかといえはできていない」のは、小学校 4 校(19%)、中学校 2 校(40%)

○地域学校協働活動推進員の配置率は、小学校 8 校(38.1%)、中学校 1 校(20%)

(中学校の 1 校については実際には配置しているはずが、配置していないという回答あり)

○今後、地域学校協働活動推進員を配置予定または配置したい小学校 6 校、中学校 1 校

配置されていない小学校 13 校において、「来年度以降配置の予定がある」は 1 校、「配置したいとは考えている」は 5 校、「現時点で配置する予定はない」は 7 校

配置されていない中学校 3 校において、「配置したいとは考えている」は1校、「現時点で配置する予定はない」は2校(※すでに配置している中学校は除外)

○推進員の配置が進まない理由は、「すでに学校と地域の連携・協働ができているため」、
「良い人材が見つからないため」

配置が進まない理由としては、小学校では「すでに学校と地域の連携・協働ができているため」が最も多く、続いて「良い人材が見つからない」が多かった。中学校では「良い人材が見つからない」が最も多かった。「中学校に推進員制度がない」という誤った認識に基づく回答があり、丹波市教育委員会の施策が学校側に十分に認知されていないことが分かった。

○児童・生徒・学校が授業以外において、地域活動に参画する地域学校協働活動がない

小学校は 2 校

小学校では、「特になし」と回答した 2 校を除いて、「地域のお祭り」、「自治振興会が主催する行事」、「親子クリーン作成」、「夏休みの学習支援、地域学習」など、それぞれの小学校区において地域活動に参画する機会があることが分かった。

中学校では、「地域のお祭りや行事でのボランティア活動」、「吹奏楽部の演奏」など、小学校と比較するとより、参加するだけでなく、ボランティアスタッフや出演者としてより主体的な関わりがあることが分かった。

○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の違い、コーディネーターの役割、地域学校協働活動のメリットに関して、学校側への十分な説明ができていない

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動一体的な推進」に関して、お悩みのこと、困っていることや今後の推進のために必要と感じている支援や仕組みについて、自由記述方式で伺った。

小学校では、「学校支援ボランティアの人材確保や人材発掘に関する意見」、「活動の拠点となる場所の確保に関する意見」、「活動費などの予算の確保に関する意見」、「連携・協働を進めるための仕組みに関する意見」が出ていた。その中には「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの違いが十分に理解できていない」、「学校支援コーディネーターと地域学校協働活動推進員の役割の違いが分からない」という意見があった。

中学校では、「取り組みが始まったばかりで模索中」、「学校と地域の間で Win-Win の関係をつくることの難しさ」を感じている。また、「学校教育に地域人材を活用すること」や「幼・小・中・高校の間での連携強化」という意見があった。小学校と比較すると地域との距離が離れているという意識があり、中学生の地域での活躍や体験できる機会よりも、地域人材による学校支援の認識の方が強い。

○小中学校ともに学校図書館の機能が不十分である

学校図書館について、「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」の 3 つの機能について伺った。

小学校では「読書センター」、「学習センター」については「機能している」「どちらかといえば機能している」と回答する割合が多かったが、「情報センター」については「機能していない」「機能していない部分がある」と回答する割合が多かった。

中学校では「読書センター」、「学習センター」の機能は、「機能している」「どちらかといえば機能している」という回答であったが、「情報センター」については「わからない」という回答があった。

「読書センター」

「十分に機能している」	<u>小学校 6 校(28.6%)</u>	<u>中学校 3 校(60%)</u>
「どちらかといえば機能している」	<u>小学校 11 校(52.3%)</u>	<u>中学校 2 校(40%)</u>
「機能していない部分がある」	小学校 1 校(4.8%)	中学校 0 校
「機能していない」	小学校 3 校(14.3%)	中学校 0 校

「学習センター」

「十分に機能している」	小学校 1 校(4.8%)	<u>中学校 3 校(60%)</u>
「どちらかといえば機能している」	<u>小学校 12 校(57.1%)</u>	<u>中学校 2 校(40%)</u>
「機能していない部分がある」	<u>小学校 5 校(23.8%)</u>	中学校 0 校
「機能していない」	小学校 3 校(14.3%)	中学校 0 校

「情報センター」

「十分に機能している」	小学校 0 校	中学校 1 校(20%)
「どちらかといえば機能している」	<u>小学校 9 校(42.9%)</u>	<u>中学校 3 校(60%)</u>
「機能していない部分がある」	<u>小学校 6 校(28.6%)</u>	中学校 0 校
「機能していない」	<u>小学校 6 校(28.6%)</u>	中学校 0 校
「その他」:	小学校 0 校	中学校 1 校(4.8%)

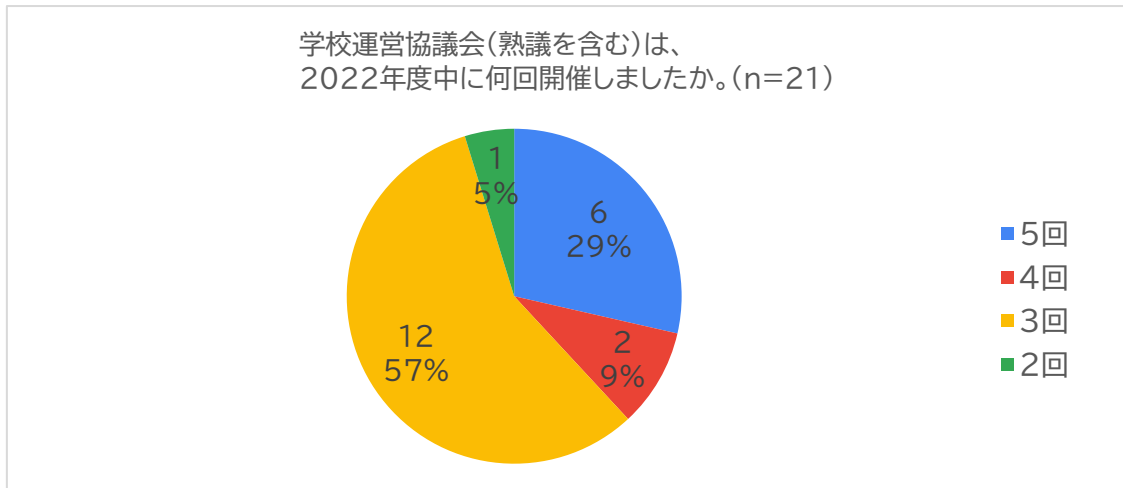
○学校司書の配置の必要性を感じている小学校が多数

「必要性を感じている」	小学校 16 校(76.2%)	中学校 2 校(40%)
「必要性を感じていない」	小学校 2 校(9.5%)	中学校 0 校
「分からない」と回答した	小学校 2 校(9.5%)	中学校 3 校(60%)

4. 小学校のアンケート調査結果

- ・回答数:21校/21校中(回答率 100%)
- ・回答者の役職 校長:11校 教頭:10校

・学校運営協議会(熟議を含む)は、2022年度中に何回開催しましたか。



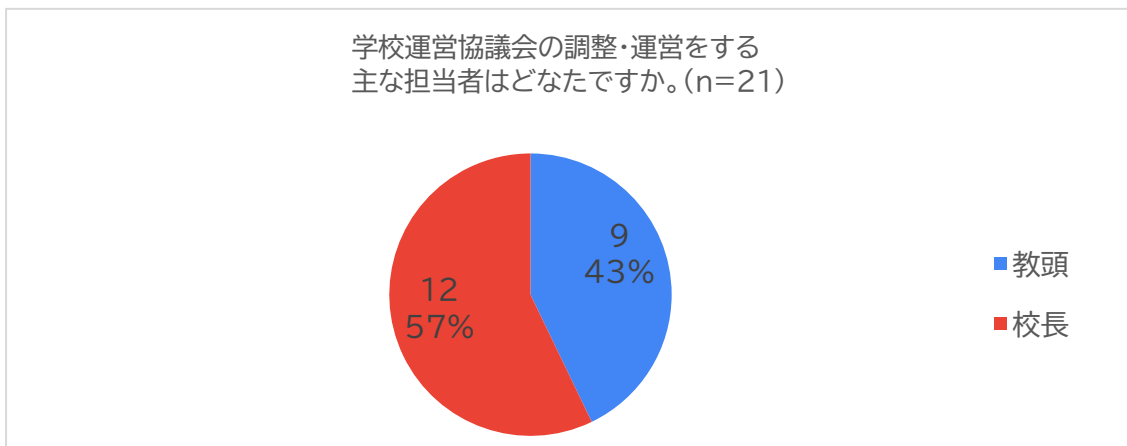
・学校運営協議会の開催時期と主な協議内容を教えてください。(自由記述)

6月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介
10月:課題や取組に関する協議
3月:学校評価、年間活動のふりかえり
9月:学校経営方針説明、活動の計画、自己紹介 等
3月:学校評価、活動の活性化に向けて 等
5月:学校経営方針説明・組織づくり・役割分担・活動方針について協議
7月:学校整備作業について
11月:通学路点検・熟議の開催
3月:学校評価パワーアッププラン、年間活動の振り返り
4月:学校経営方針説明・組織について・運営協議会の活動について
6月:学校の様子について・北校舎大規模改修に伴う説明・各行事に関する依頼事項等
10月:学校評価について説明・焼いも大会について・マラソン記録会について
1月:学校評価について(評価委員会)
3月:学校の様子について・学校評価の報告と来年度の学校経営方針の説明
4月:学校経営方針説明・承認、組織の確認、年間活動計画の確認
10月:上半期の活動報告、意見交流
2月:年間活動の振り返り、学校関係者評価の聴取

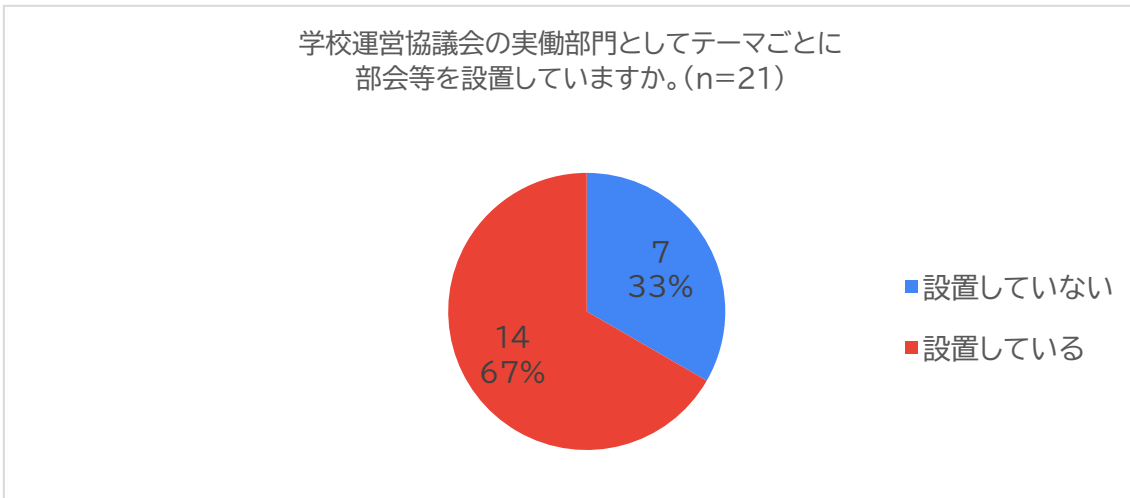
<p>6月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介・委嘱 12月:1、2学期の学校経営の報告、地域の活動報告、意見交換 3月:熟議、年間の活動の振り返り、学校評価</p>
<p>5月:学校経営方針説明、意見交換、会長の承認、年間計画、地域学校協働活動WS 10月:前期の取組について 前期の学校評価について 3月:令和4年度学校評価について 令和5年度学校経営方針について・委員について</p>
<p>5月:学校経営方針について 9月:教育評価について 3月:学校評価、次年度学校経営方針について</p>
<p>4月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介、今年度の活動検討 6月:児童の様子意見交流、熟議の開催(150周年行事、集落座談会) 11月:課題や取組みに関する協議 2月:学校評価、年間活動のふりかえり、次年度学校経営方針承認</p>
<p>5月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介 7月:熟議 8月:課題や取組みに関する協議 11月:課題や取組みに関する協議 2月:学校評価、年間活動のふりかえり</p>
<p>5月:委員の自己紹介・正副会長の承認・学校経営方針説明・年間行事計画の確認と調整 8月:学校の教育活動・各推進チームの活動 11月:各推進チームの活動・学校の教育活動 2月:学校の教育活動・学校アンケート結果と学校評価・各推進チームの活動 3月:学校評価・学校の教育活動・来年度の組織</p>
<p>4月:学校経営方針、年間計画、各部の活動 8月:中間報告、熟議について、学校評価について 10月:取組周知、CSについて 12月:熟議報告 2月:活動報告、学校評価について、来年度に向けて</p>
<p>4月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介、今年度の取組 11月:運動会・音楽会・参観日での児童の様子、課題や取組に関する協議 3月:学校評価、年間活動のふりかえり</p>
<p>4月:職員・委員の自己紹介 学校経営方針説明 課題や取組みに関する協議 12月:課題や取組みに関する協議 3月:学校評価、年間活動のふりかえり 次年度学校経営方針説明</p>
<p>5月:学校経営方針説明、本年度の活動、意見交換 10月:熟議の開催</p>

12月:マラソン記録会見学、中間評価の結果と現状報告 2月:学校評価 3月:学校評価、令和5年度学校経営方針
5月:学校経営方針の説明・承認 10月:課題や取組に対する評価 2月:振り返り
5月:主な年間行事予定 8月:5～7月の学習活動の様子について CSの取組について 11月:8～11月の学習の様子について CSの取組について 1月:12～1月の学習の様子について CSの取組について 3月:2～3月の学習の様子について CSの取組のまとめ反省について
6月:職員・委員の自己紹介、学校運営方針の説明(3月に承認)・意見交換 12月:学校評価(1学期～2学期)、各部の話し合い 3月:学校評価及び公表について、次年度の学校運営方針について
5月:委員の委嘱・学校経営方針説明・年間計画について・意見交換 12月:1、2学期の取組の振り返り・各部会の3学期の取組について 3月:年間活動の振り返り・学校評価・次年度の学校経営についての提案
5月:学校経営方針の説明・意見交換、職員・委員の自己紹介 12月:3学期の行事、黒井っ子あいさつトライ・やる 3月:3学期の行事、学校評価、年間活動の振り返り
4月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介 10月:課題や取り組みに関する協議 3月:学校評価、年間活動のふりかえり

・学校運営協議会の調整・運営をする主な担当者とはどなたですか。



・学校運営協議会の実働部門としてテーマごとに部会等を設置していますか。



・(「設置している」と回答した方のみ)部会の名称、役割、構成人数、部会ごとの年間の活動回数をご記入ください。(自由記述)

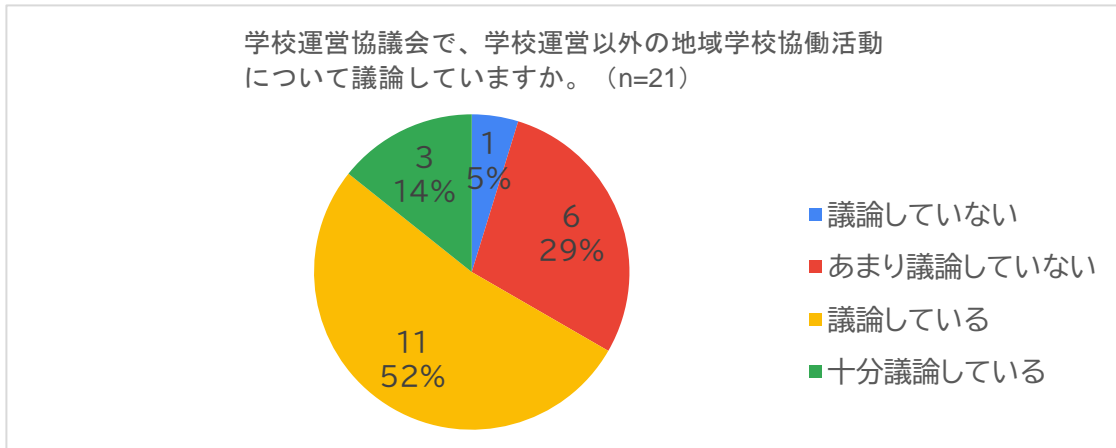
<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境整備活動(4名):2回 ・学習支援活動(2名):2回 ・見守り活動(2名):3回
<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心グループ(3名):110番の家の確認、校庭の草刈り作業等(年間3回) ・学習支援グループ(3名):春風学級(人権教育)、夏祭りの開催等(年間5回) ・ふるさと交流グループ(3名):さつまいもの苗差し、焼きいも大会、駅前花植え等(年間5回)
生活支援、地域交流、学習支援各5名
ウォーキングパトロール隊・読み聞かせ隊・西小学び隊・園芸サポーター・
<ul style="list-style-type: none"> ・「安心・安全」チーム(7名):登下校の見守り活動 ・「学びの充実」チーム(7名):学習支援、学校生活支援 ・「地域づくり」チーム(8名):鼓笛隊活動推進
<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援部:読み聞かせ、学習支援、ゲストティーチャー、アシスタントティーチャー、生活サポーター、図書館整備 ・安全環境部:見守り体制の確立 ・地域交流部:校区カレンダー、高齢者の集い、たんばみらい学
各4名、随時必要に応じて開催
<ul style="list-style-type: none"> ・まなび応援部(4名):学習面支援(部会としては3回、情報共有) ・みまもり安心安全部(5名):登下校見守り、校外学習時同行(上記同様) ・つながり交流部(6名):地域学習、閉校行事、地域行事との連携(上記同様)

<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援部(4名):40回 読み聞かせ活動 たんばふるさと学(地域学習・ゲストティーチャー) など ・安全安心部(4名):12回 見守りボランティア活動 子ども110番の家 防災・防犯活動 ・ふるさと交流部(4名):10回 すこやか水田(田植え、稲刈り、おにぎり) クラブ活動(陶芸、グランド・ゴルフ、和体験など)
<ul style="list-style-type: none"> ・評価部会 役割:学校評価 地域8名、学校3名、PTA4名 活動回数:3回
<ul style="list-style-type: none"> ・はるべの郷交流部(6名):校外学習の充実と連携 約10回 ・まなび応援部(5名):校内での学習活動の充実 約10回 ・みまもり部(5名):学校の環境整備や登下校の安全 約10回
<ul style="list-style-type: none"> ・活動支援部(4名):さつま芋づくり・販売、合同ラジオ体操、校区探検・見学 ・学習支援部(4名):令和たんば塾、ふるさと学習支援、クラブ活動 ・環境支援部(4名):登下校の見守り、交通安全教室、奉仕作業
<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援部(5名):校内・郊外での学習活動・学校行事の充実に向けての支援 10回 ・防犯・交通安全部会(4名):児童の安全確保を図るとともに、環境整備に向けての支援 3回 ・健全・育成部(6名):地域行事の企画・参加啓発・地域行事と学校行事の連携・地域・学校での共同事業の企画・運営 3回
<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全部会(安全ボランティア感謝の会) ・こどもの学び部会(地域学習の機会) ・こころの教育部会(人権学習発表の機会) <p>今後、来校していただいたときに意見を聞く予定</p>

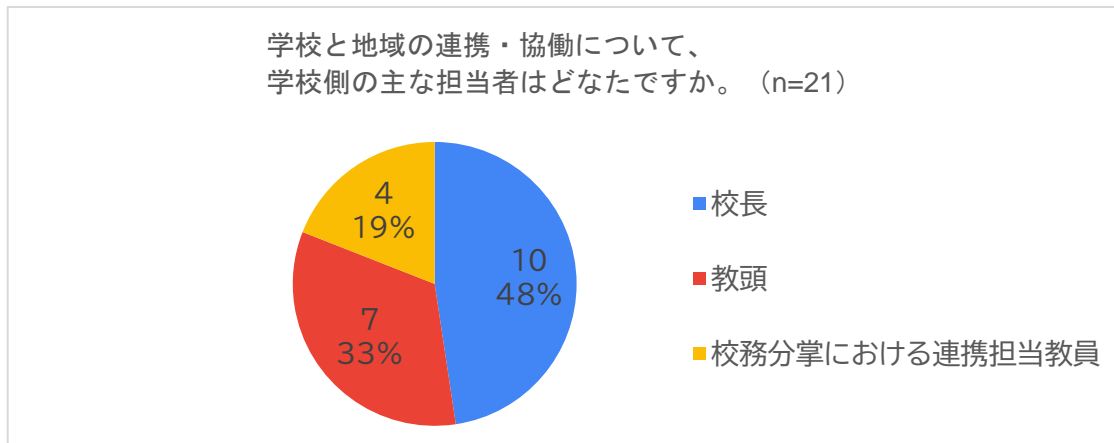
・(「設置していない」と回答した方のみ) 設置していない理由を何ですか。(自由記述)

部会による運営ができない。
全体協議の後、委員が各自の所属団体へ協議内容を伝達している。委員の所属団体が実働部門の役割を果たされているため、設置していない。
部会ごとに活動するより重点課題、目標に対して集中的に取り組めるため
必要がないから
効率的な会の運営のため
運営協議会全員で協議を行う
特に必要ないから

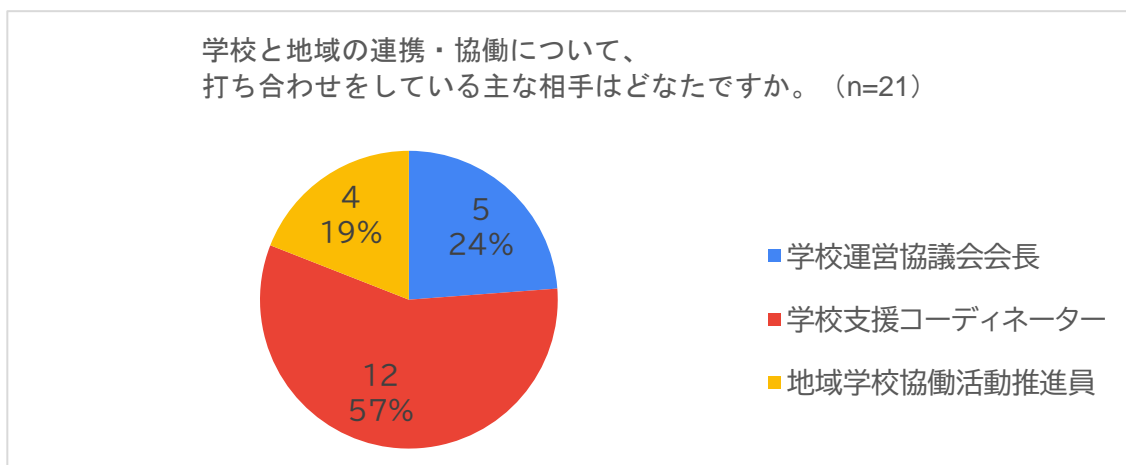
・学校運営協議会で、学校運営以外の地域学校協働活動について議論していますか。



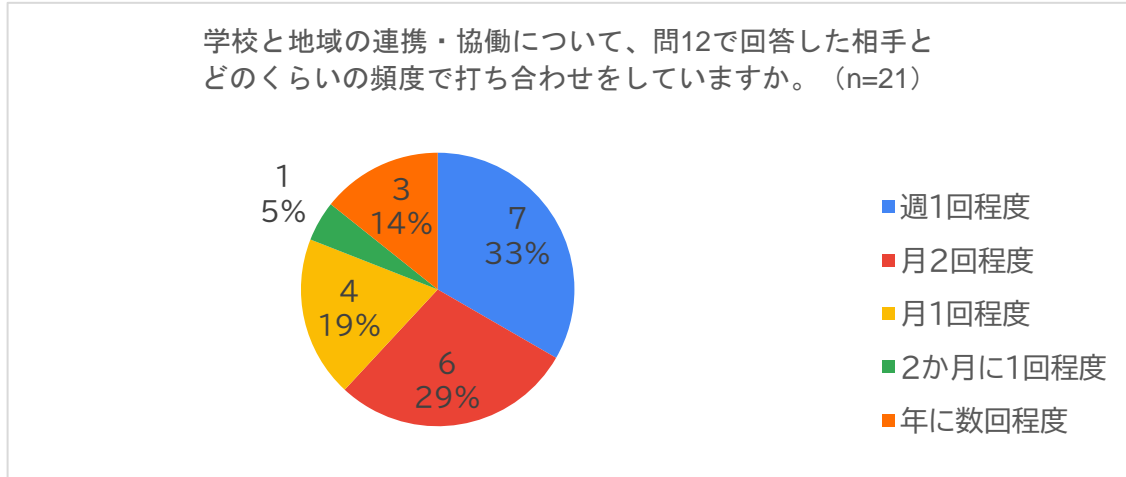
・学校と地域の連携・協働について、学校側の主な担当者とはどなたですか。



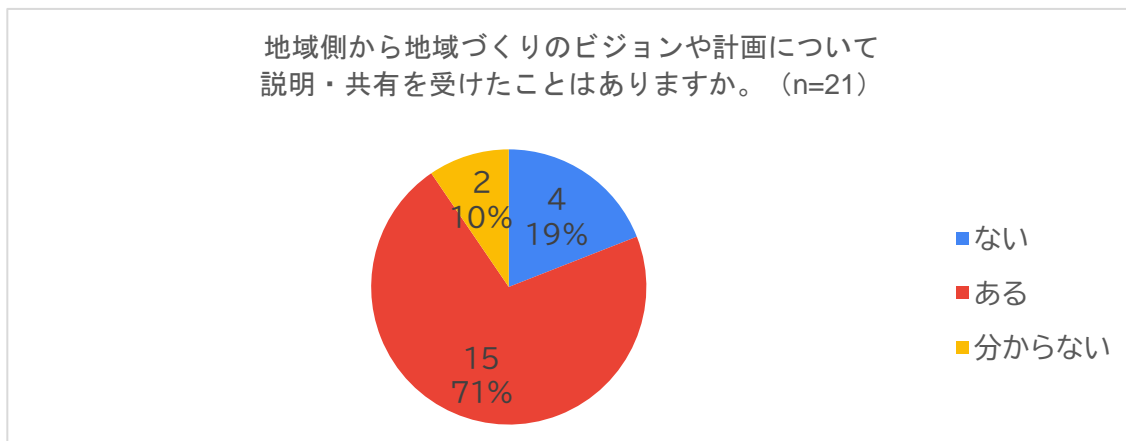
・学校と地域の連携・協働について、打ち合わせをしている主な相手とはどなたですか。



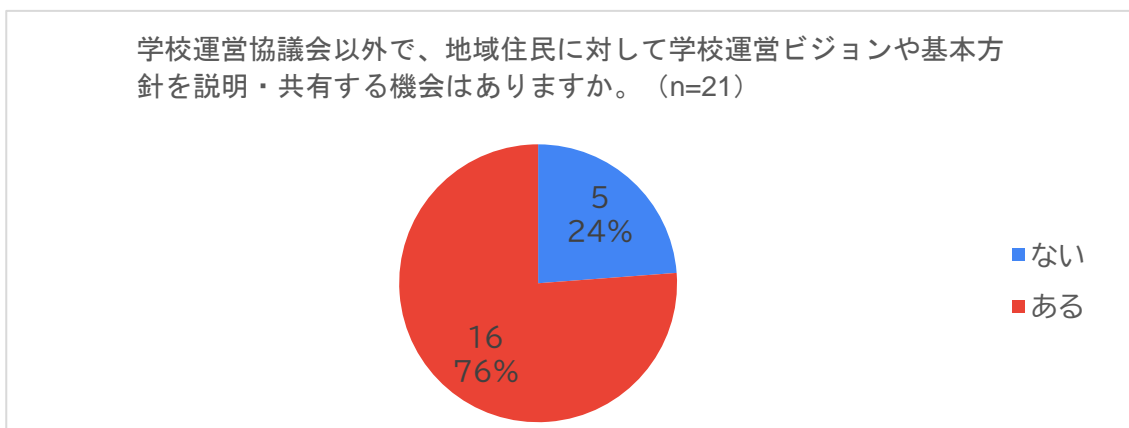
・学校と地域の連携・協働について、問12で回答した相手とどのくらいの頻度で打ち合わせをしていますか。



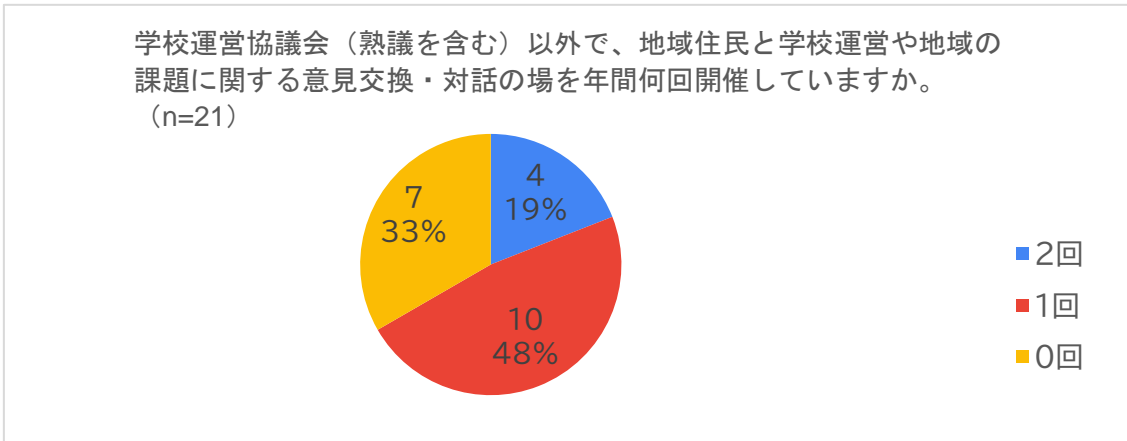
・地域側から地域づくりのビジョンや計画について説明・共有を受けたことはありますか。



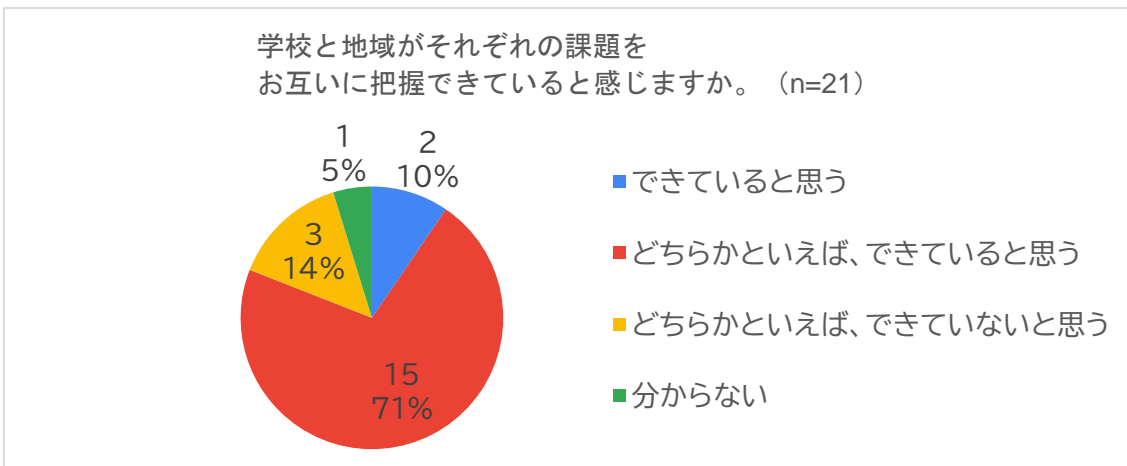
・学校運営協議会以外で、地域住民に対して学校運営ビジョンや基本方針を説明・共有する機会がありますか。



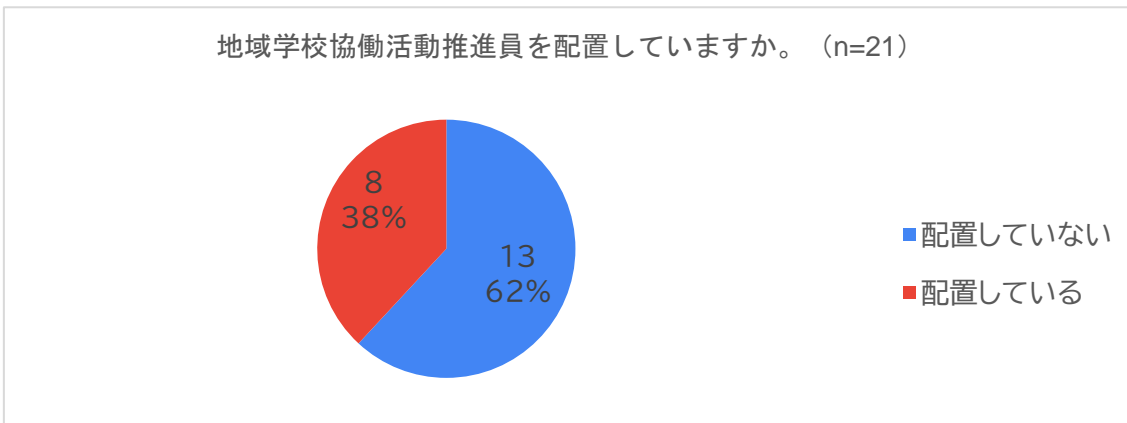
- ・学校運営協議会(熟議を含む)以外で、地域住民と学校運営や地域の課題に関する意見交換・対話の場を年間何回開催していますか。



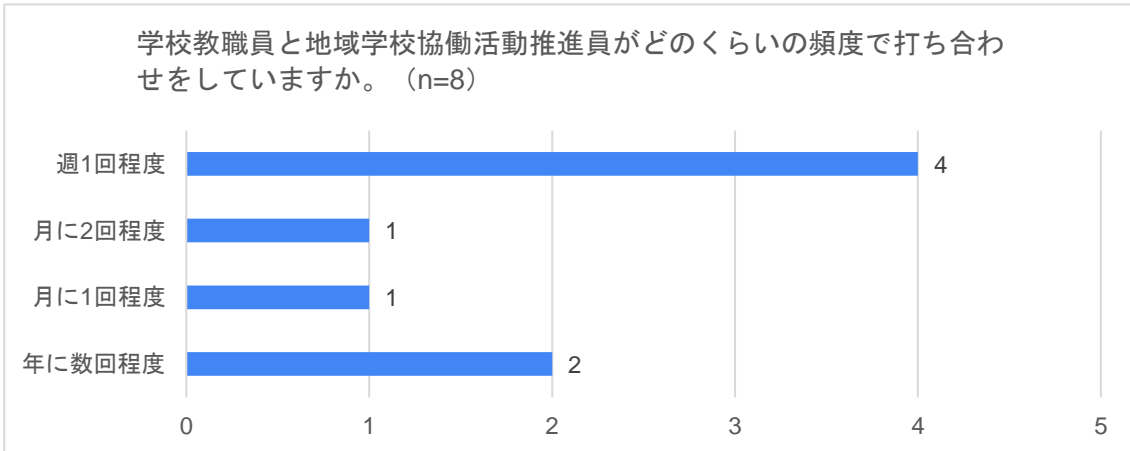
- ・学校と地域がそれぞれの課題をお互いに把握できていると感じますか。



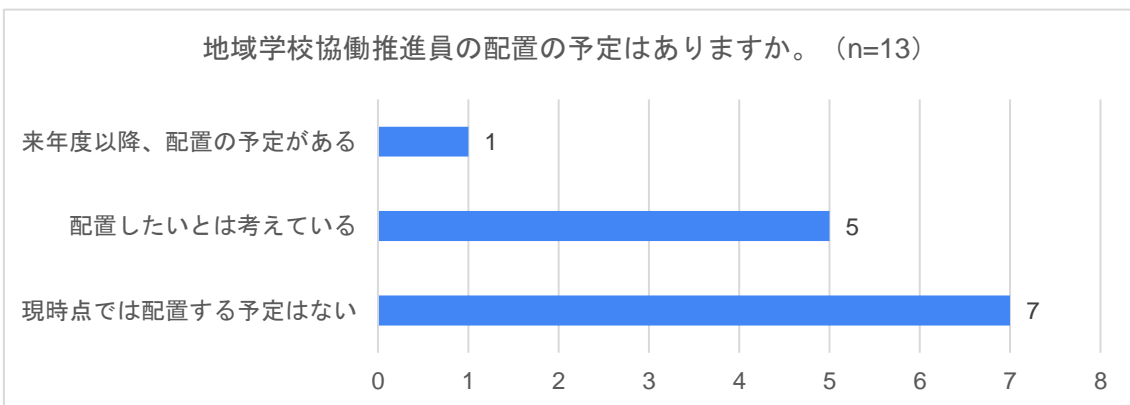
- ・地域学校協働活動推進員を配置していますか。



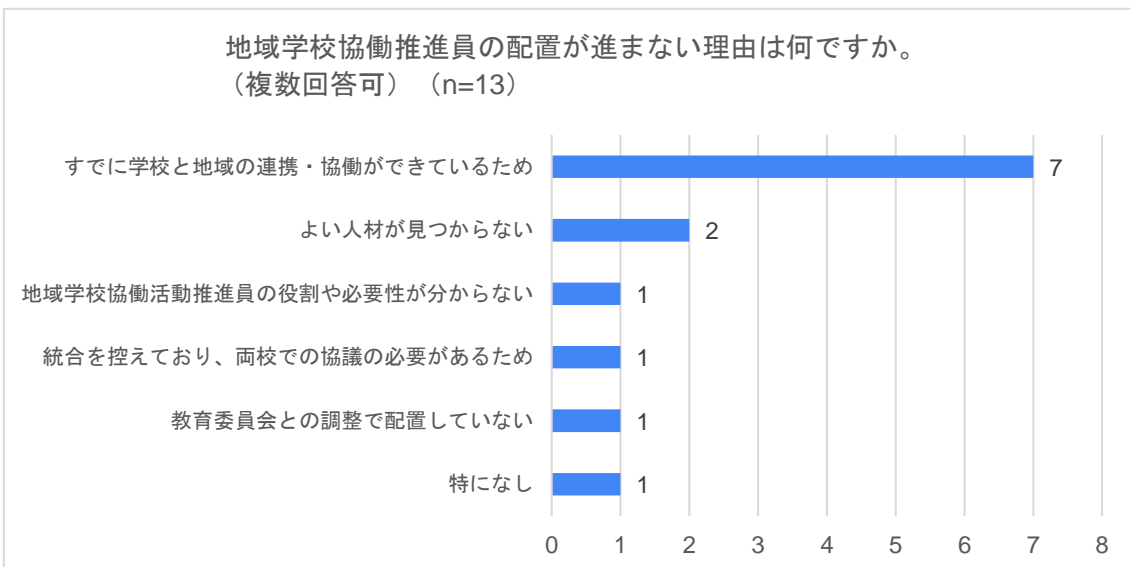
・学校教職員と地域学校協働活動推進員がどのくらいの頻度で打ち合わせをしていますか。



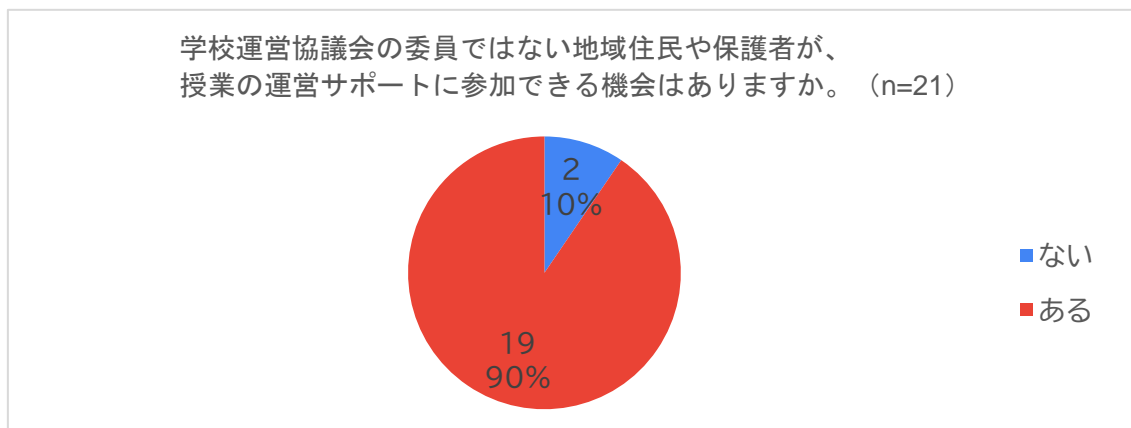
・地域学校協働推進員の配置の予定はありますか。



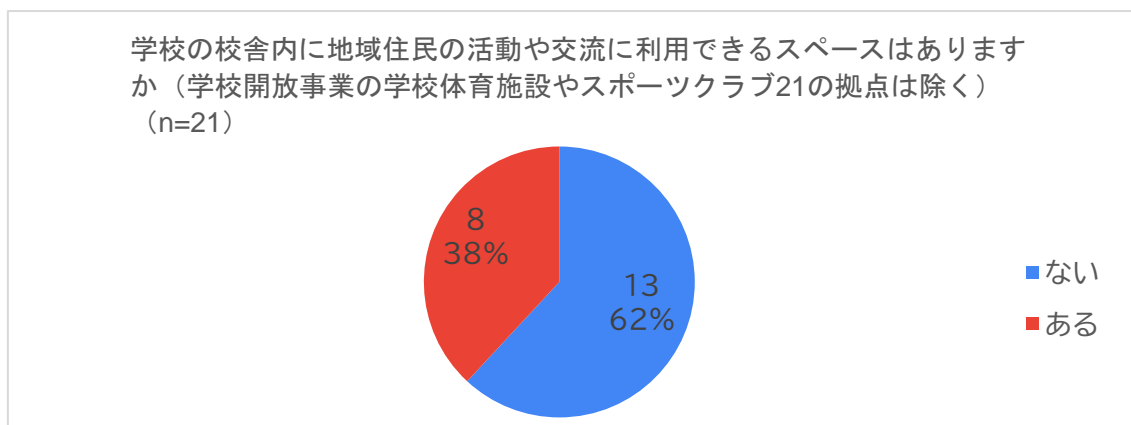
・地域学校協働推進員の配置が進まない理由は何ですか。



・学校運営協議会の委員ではない地域住民や保護者が、授業の運営サポートに参加できる機会がありますか。



・学校の校舎内に地域住民の活動や交流に利用できるスペースはありますか(学校開放事業の学校体育施設やスポーツクラブ 21 の拠点は除く)。

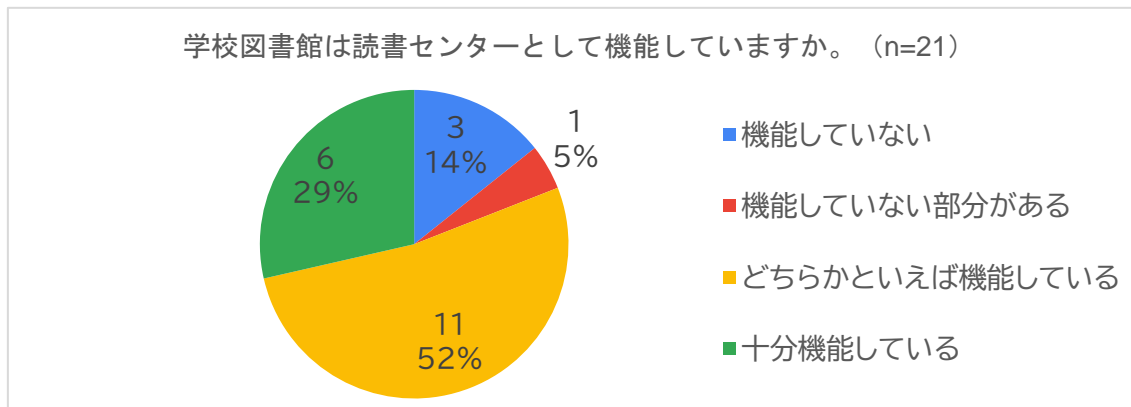


・児童・生徒・学校が授業以外で地域活動に参画する地域学校協働活動には、どのような機会がありますか。(自由記述)

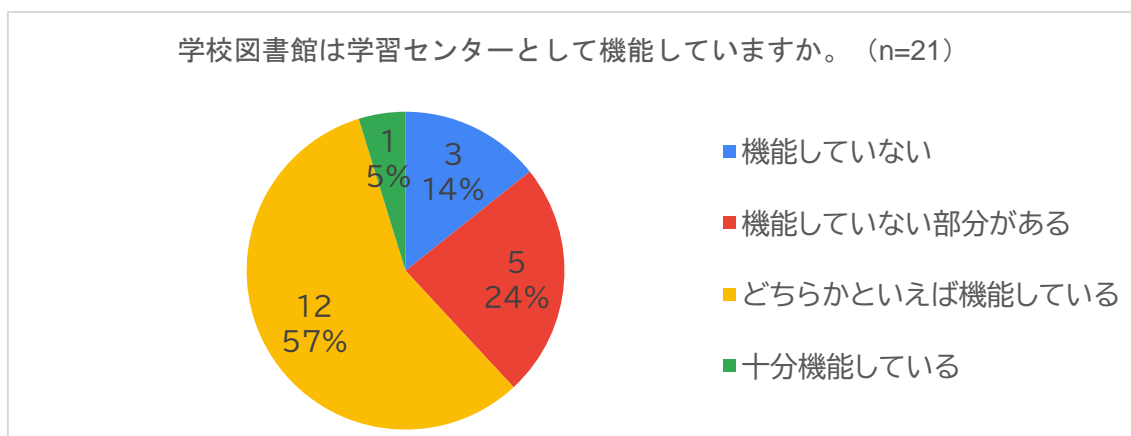
かいばらひな巡り
地域ぐるみラジオ体操・地域ふれあい文化祭
①自治会及び民生委員さんの協力のもと、年1回(6月)、自分の居住地区の高齢者の方とふれあう「ふれあい交流会」を行っている。
②地域文化祭への児童作品出品
自治振興会主催の夏祭り
おがわ元気塾 こども食堂 など
地域の祭りへの児童の絵画等作品出展、自治振興会主催イベントへの参加
令和丹波塾ぬめぎでのボランティアスタッフ 運動会の午後のイベント

自治振興会の行う地域行事
食育支援ボランティア(学校給食支援)、図書館運営ボランティア(図書館司書)、子育てサークル活動誘致(赤ちゃん先生)
自治振興会主催の行事。川の水質調べや、とんど祭り等
地域のまつりや音楽祭への鼓笛隊出演
特になし
地域の行事(魚つかみ・しめ縄づくり・祭・文化祭)
環境教育活動
特になし
夏祭り、アグリフェスタ、スタンプラリーなど
春日部地区自治協議会から夏休みに「はるべ塾」を開催される。
アグリフェスタ(11月):さつま芋の販売を6年生が実施
合同ラジオ体操(7月):夏季休業日に入った時期
親子クリーン作戦、ふるさと夏祭り
自治協議会主催のミニチュア甲冑づくり
船城ふるさとまつり

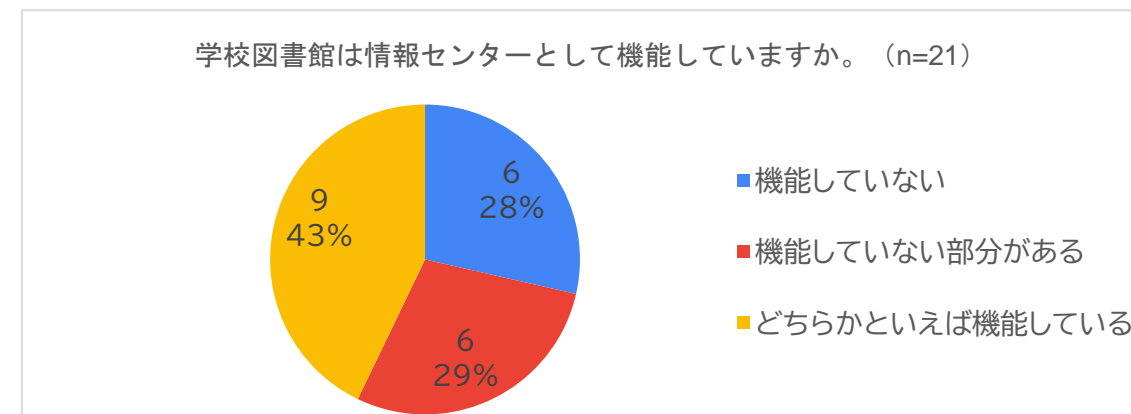
・学校図書館は「読書センター」「学習センター」「情報センター」の 3 つの機能を有しています。
 貴校の学校図書館は、読書センターとして機能していますか。



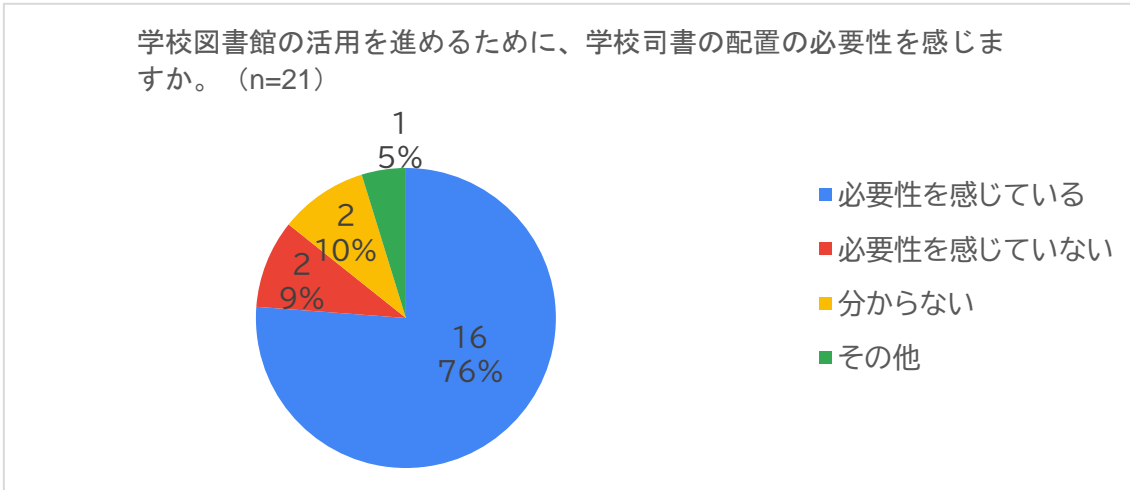
・貴校の学校図書館は、学習センターとして機能していますか。



・貴校の学校図書館は、情報センターとして機能していますか。

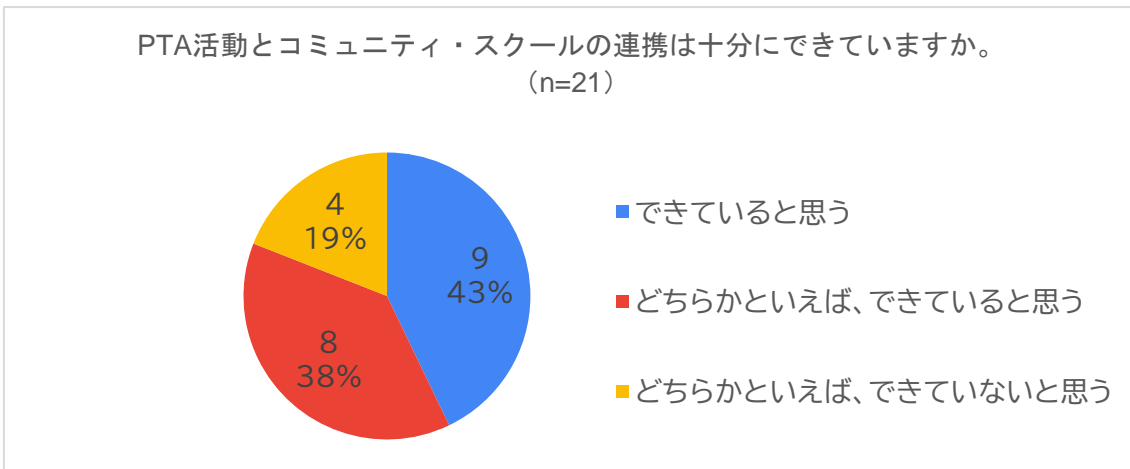


・学校図書館の活用を進めるために、学校司書の配置の必要性を感じますか。



その他: 司書教諭がいても専属でないため活動できるのゆとりがない

・PTA 活動とコミュニティ・スクールの連携は十分にできていますか。



・「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」に関して、お悩みのこと、困っていることや今後の推進のために必要と感じている支援や仕組みについて教えてください。(自由記述)

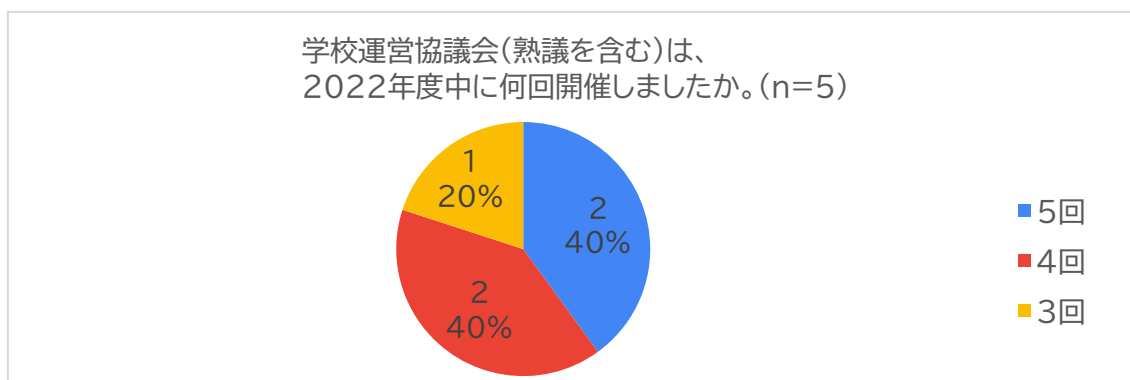
学校支援ボランティアの数を増やしていきたい。
昨年度、十分な活動ができていなかったため、今年度は学校支援ボランティアを募集し、活動を増やそうと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の拠点となる場所の確保 ・持続可能な人材の確保(活動を引き継ぎ、継続的に活動に関わっていかうとする意識の醸成・後継者の育成等)

・推進事例を交流できるしくみづくり
学校支援コーディネーターと地域学校協働活動推進委員の役割の違いがよくわからない。
地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの違いや必要性が十分理解できていない
学校支援コーディネーターとの違いは何ですか？
参画者をいかに増やすか 活動費を如何にするか
参画してもらえる人材の確保
人材発掘、人材不足
取組の継続と、地域人材の確保。学校運営協議会の構成において、若い世代からの人材確保が難しい。
互いの課題を共有し、その解決のために、参加する誰もがやりがいをもち、持続可能な活動になるよう仕組んでいくことが必要だと感じる。
地域の方々の支援や協力により、充実した推進ができていると感じます。ただ、事務局として学校の負担は逆に増えていると感じます。更なる充実に向けての人的支援や仕組みの工夫が必要と考えます。
PTA など既存組織の意識改革
来年度からの学校統合
地域教材や人材をバランスよく活用し、教育活動に参画していただくことを心がけている。また、学校の課題やビジョンを共有し、連携しながら課題の解決に向かうようにしている。
特になし
特にございません。
先日も教育委員会から今後のことについて説明がありましたが、予算措置が十分にされていないことが課題であると思います。少なくとも地域づくりを主として考えるのであれば、自治協議会の事務局に正規の専門性のある職員を配置する必要があると考えます。今の状況では、学校の業務改善は進まないと同時にコミスクと地域学校協働活動の一体的な推進は見込まれないと思います。
人材バンクを増やすこと
新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、学校行事において人数制限はしていない。感染者が0にならない現在、学校行事等の地域への声掛けを、どの程度、元通りによいのか迷っている。
子どものことは学校がやればよいという意識がまだまだ強いと感じる

5. 中学校のアンケート調査結果

- ・回答数:5校/5校中(回答率 100%)
- ・回答者の役職 校長:3校 教頭:2校

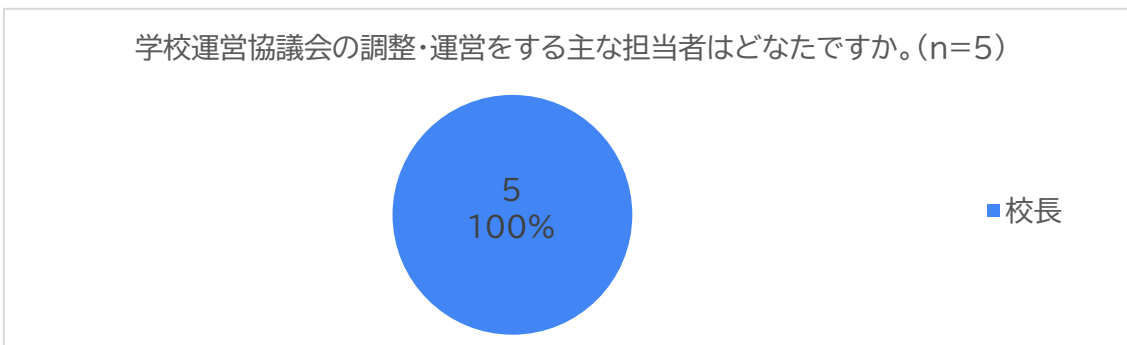
- ・学校運営協議会(熟議を含む)は、2022年度中に何回開催しましたか。



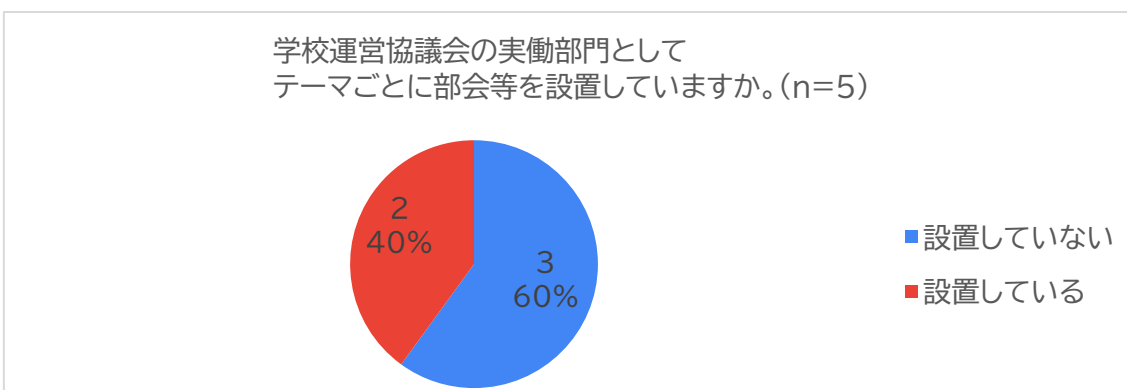
- ・学校運営協議会の開催時期と主な協議内容を教えてください。(自由記述)

4月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介、活動内容の確認
9月:1学期の課題や今後の取り組みに関する協議
12月:2学期の課題や取り組みに関する協議、全国学力学習状況調査結果の考察より
2月:学校評価、年間活動のふりかえり、次年度の取り組みについて
7月:1学期の活動報告、課題や取り組みに関する協議
9月:体育大会の参観
11月:文化祭の参観 11月:オープンスクールでの授業参観、意見交換
2月:学校評価、年間活動のふりかえり、次年度の学校経営方針説明
4月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介
8月:課題や取り組みに関する協議
10月:熟議の開催
11月:課題や取り組みに関する協議
3月:学校評価、年間活動のふりかえり
5月:学校経営方針説明・意見交換、職員・委員の自己紹介
11月:学校運営に関する報告
2月:学校評価、年間活動のふりかえり
5月:学校経営方針の説明・承認
9月:課題や取り組みに関する協議
2月:熟議
3月:学校評価

・学校運営協議会の調整・運営をする主な担当者とはどなたですか。



・学校運営協議会の実働部門としてテーマごとに部会等を設置していますか。



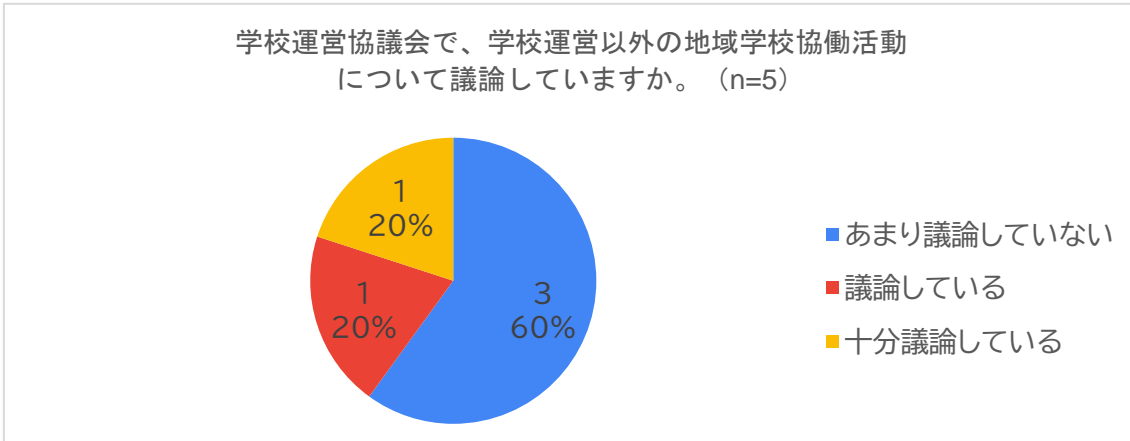
・(「設置している」と回答した方のみ)部会の名称、役割、構成人数、部会ごとの年間の活動回数をご記入ください。(自由記述)

・学習支援部(3名):生徒の学習活動を支援
・安全環境部(3名):生徒の安全を守るための活動や学校環境の整備をする活動を支援
・地域交流部(4名):生徒の地域イベントへの協力やボランティア活動を支援
・学習支援部(6名):3回
・安全環境部(6名):3回
・地域交流部(6名):3回

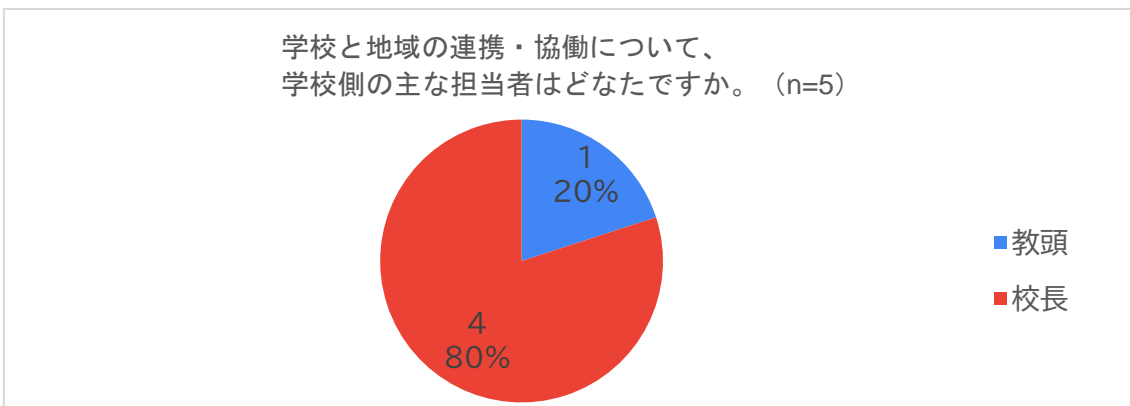
・(「設置していない」と回答した方のみ) 設置していない理由を何ですか。(自由記述)

十分な協議ができていない
現在、必要性がないから
検討中

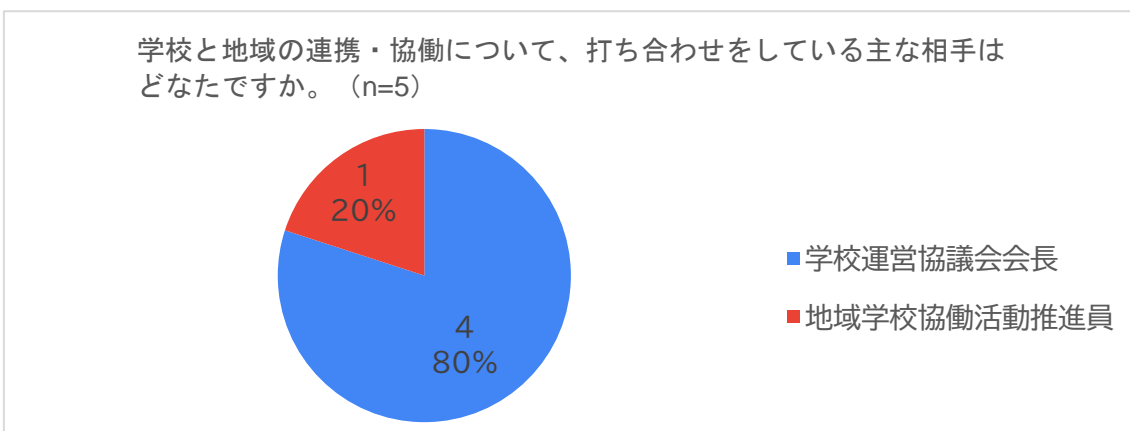
・学校運営協議会で、学校運営以外の地域学校協働活動について議論していますか。



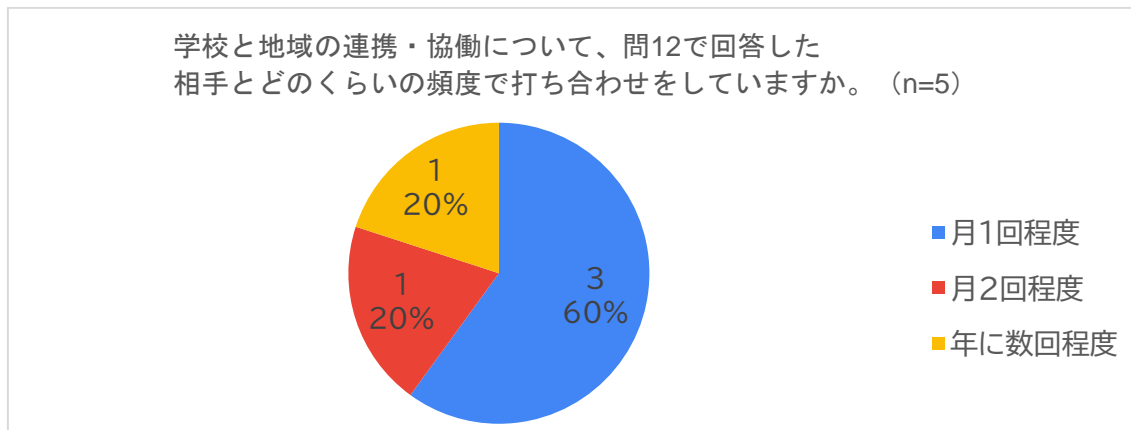
・学校と地域の連携・協働について、学校側の主な担当者とはどなたですか。



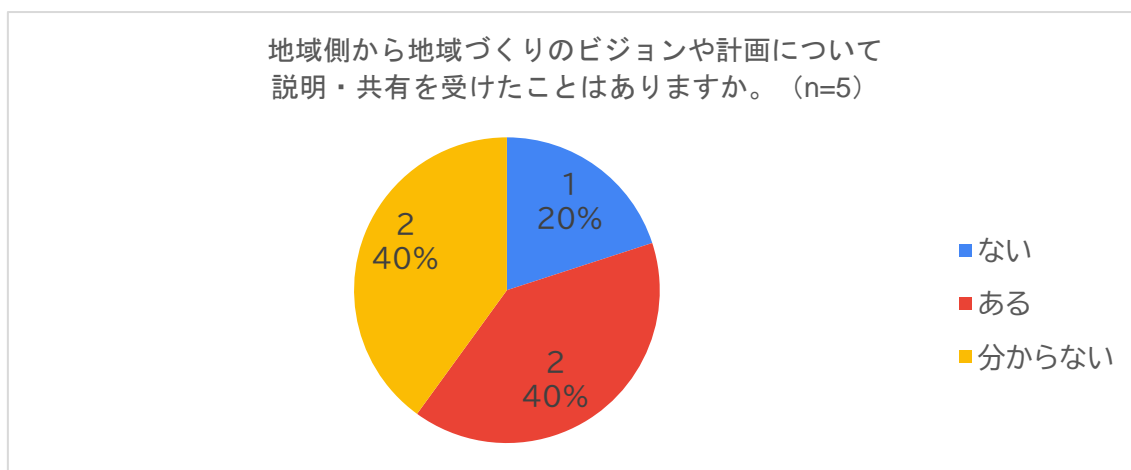
・学校と地域の連携・協働について、打ち合わせをしている主な相手とはどなたですか。



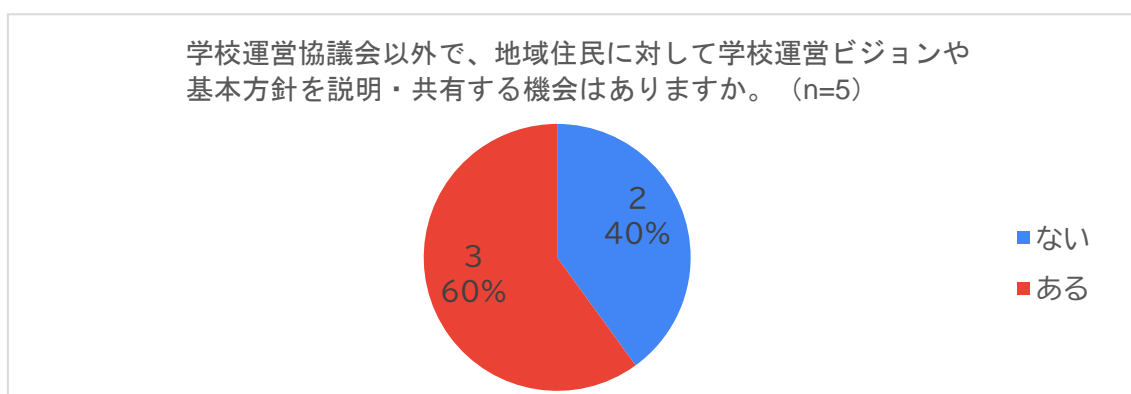
・学校と地域の連携・協働について、問 12 で回答した相手とどのくらいの頻度で打ち合わせをしていますか。



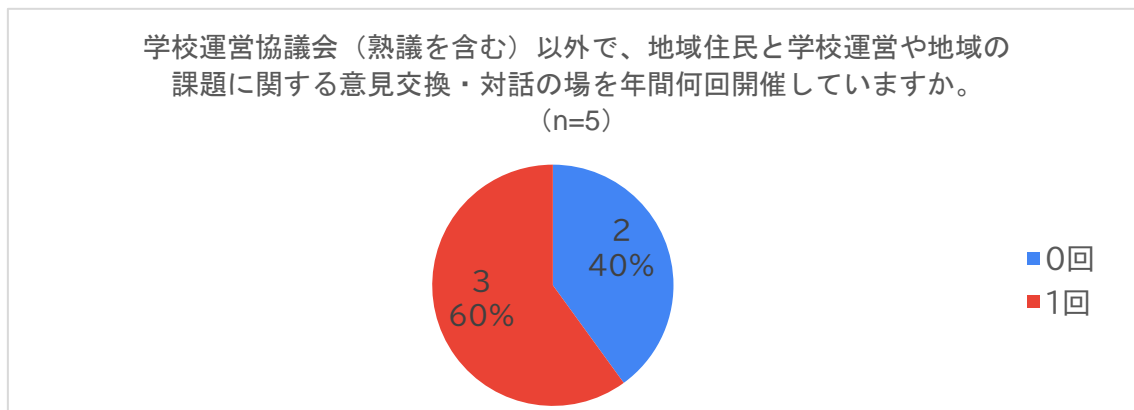
・地域側から地域づくりのビジョンや計画について説明・共有を受けたことはありますか。



・学校運営協議会以外で、地域住民に対して学校運営ビジョンや基本方針を説明・共有する機会がありますか。



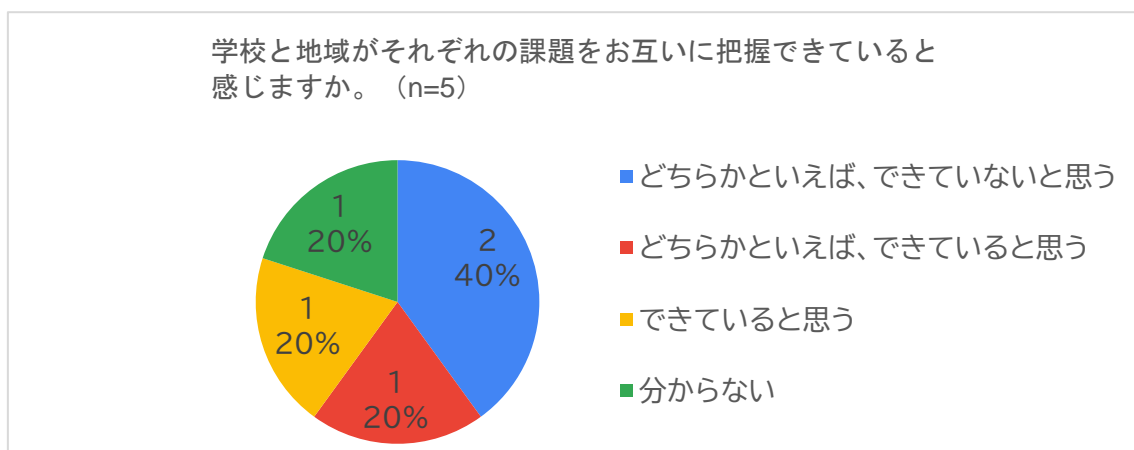
・学校運営協議会(熟議を含む)以外で、地域住民と学校運営や地域の課題に関する意見交換・対話の場を年間何回開催していますか。



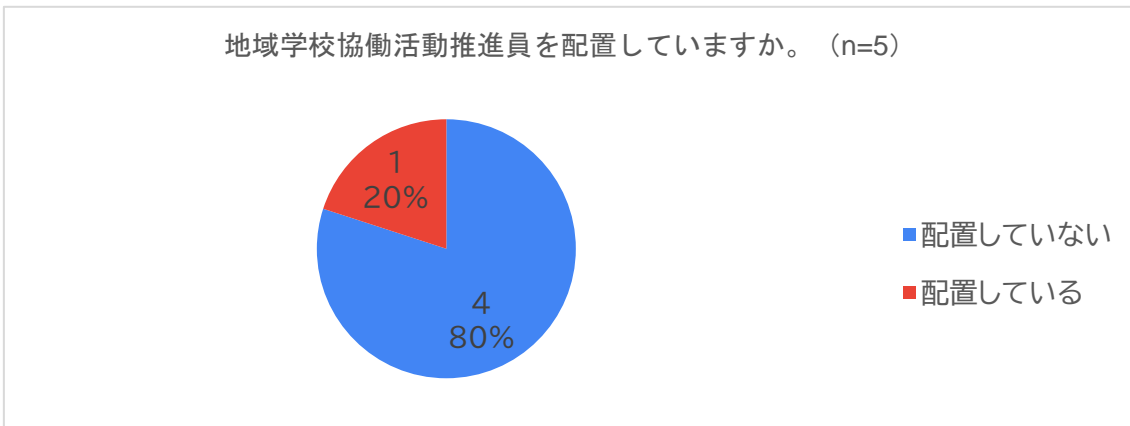
・児童・生徒・学校が授業以外で地域活動に参画する地域学校協働活動には、どのような機会がありますか。(自由記述)

ボランティア活動
トライやる・ウィーク、地域行事のボランティア、吹奏楽部の演奏など
夏祭り 地域の行事等
地域の祭りや行事等にボランティア活動として参加している
地域の祭りやイベントへの参加

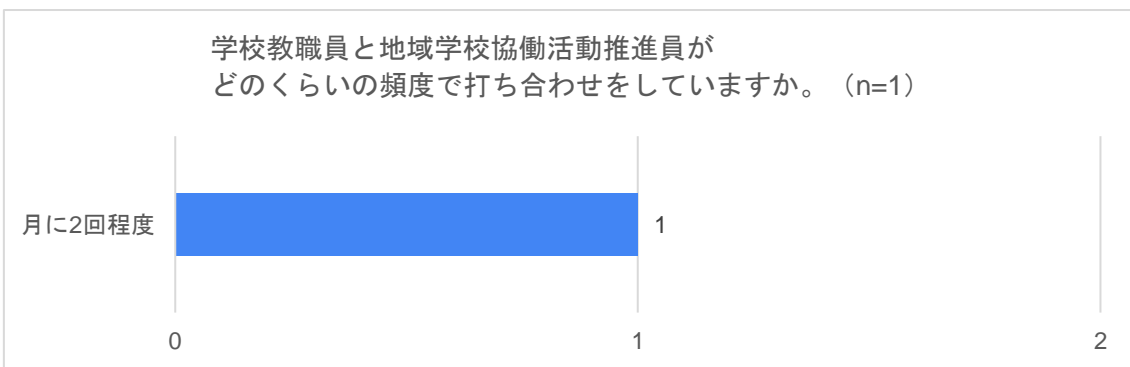
・学校と地域がそれぞれの課題をお互いに把握できていると感じますか。



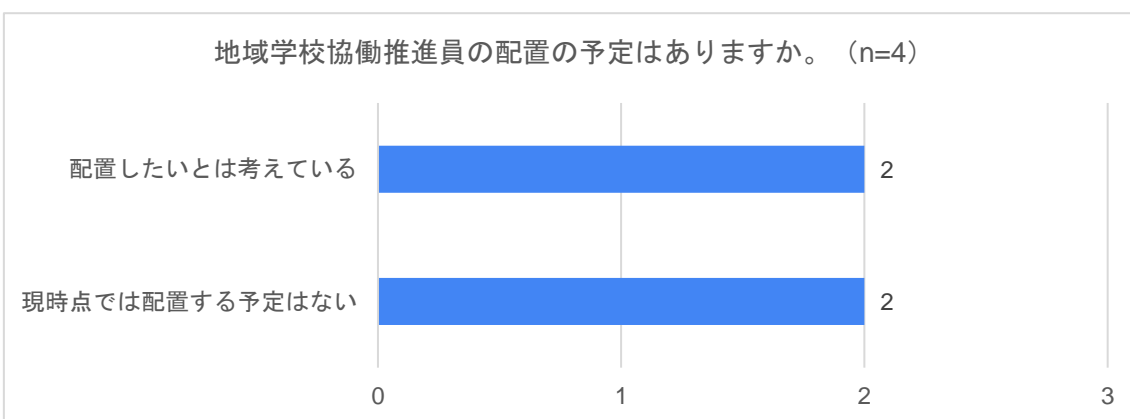
・地域学校協働活動推進員を配置していますか。



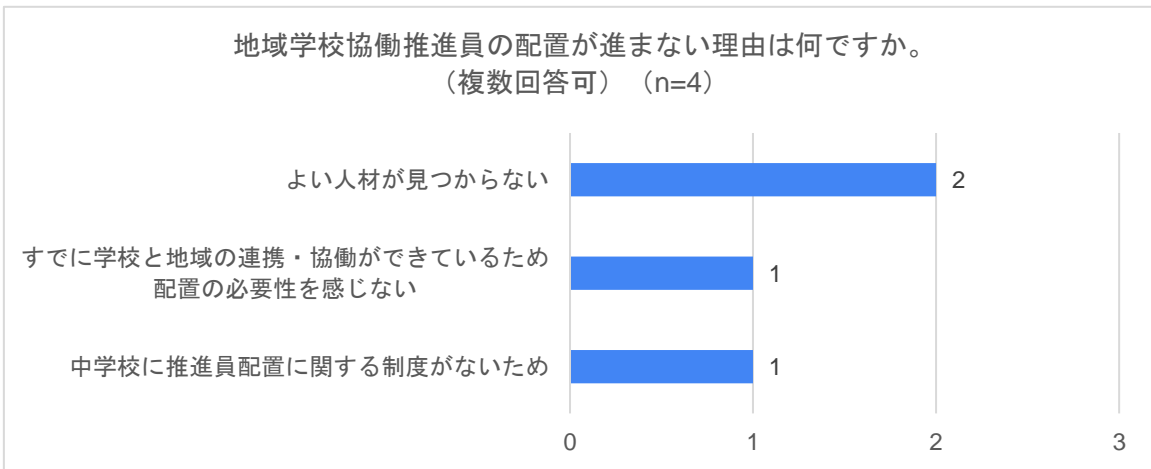
・学校教職員と地域学校協働活動推進員がどのくらいの頻度で打ち合わせをしていますか。



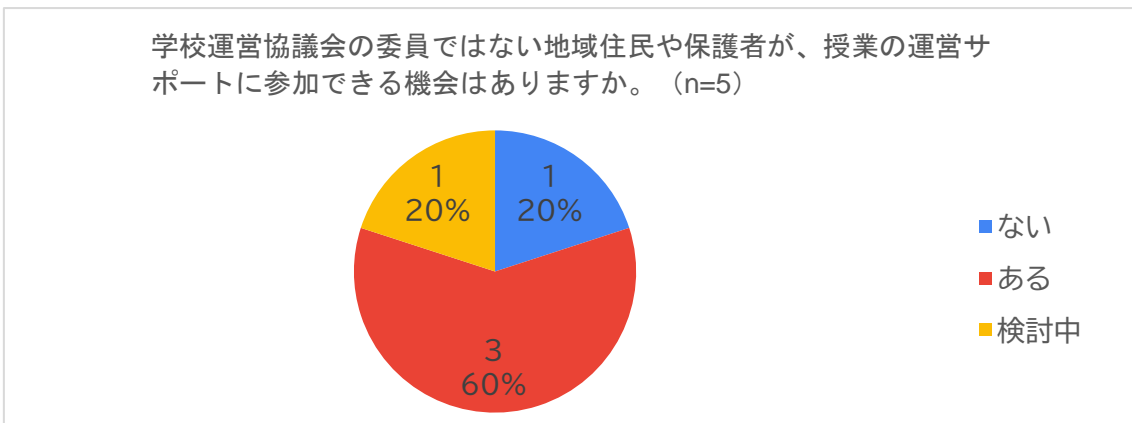
・地域学校協働推進員の配置の予定はありますか。



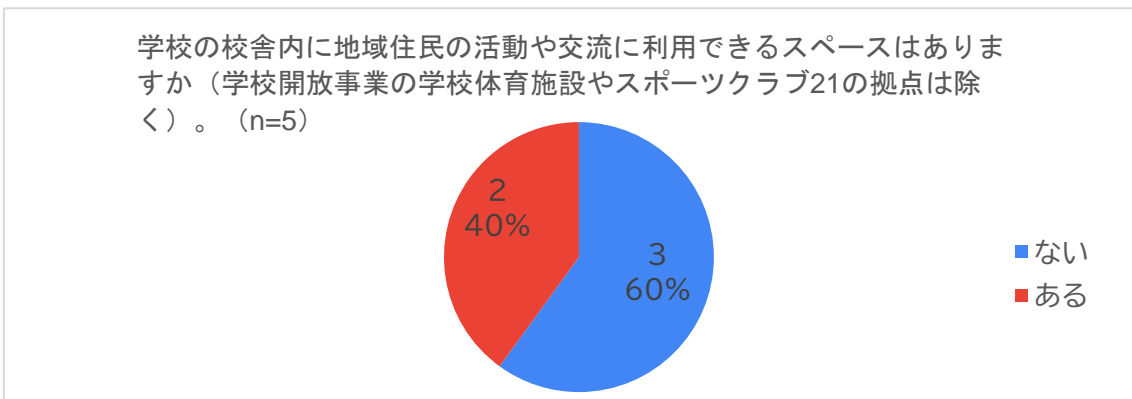
・地域学校協働推進員の配置が進まない理由は何ですか。



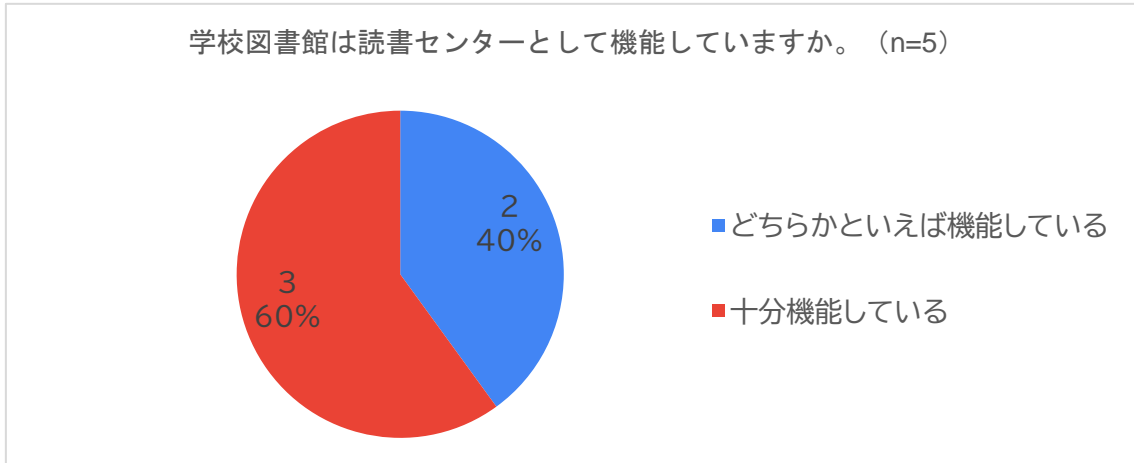
・学校運営協議会の委員ではない地域住民や保護者が、授業の運営サポートに参加できる機会がありますか。



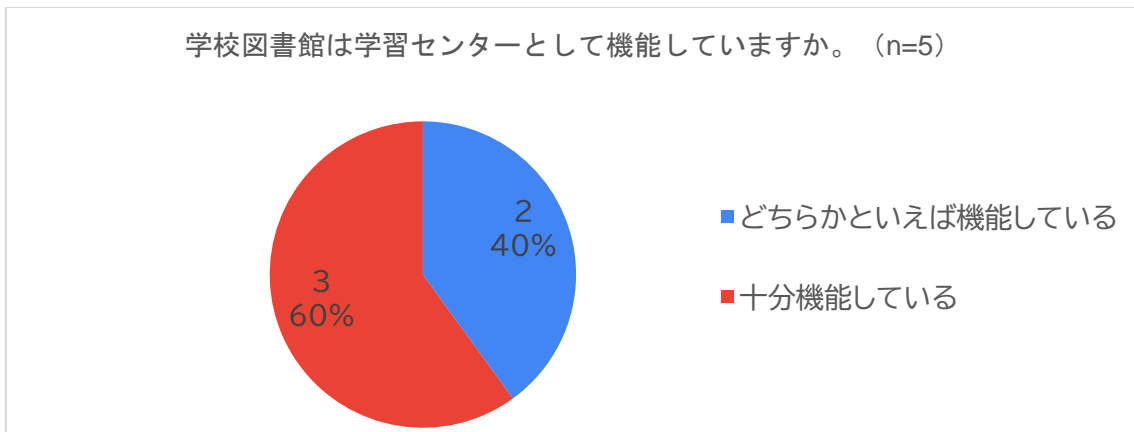
・学校の校舎内に地域住民の活動や交流に利用できるスペースはありますか(学校開放事業の学校体育施設やスポーツクラブ 21 の拠点は除く)。



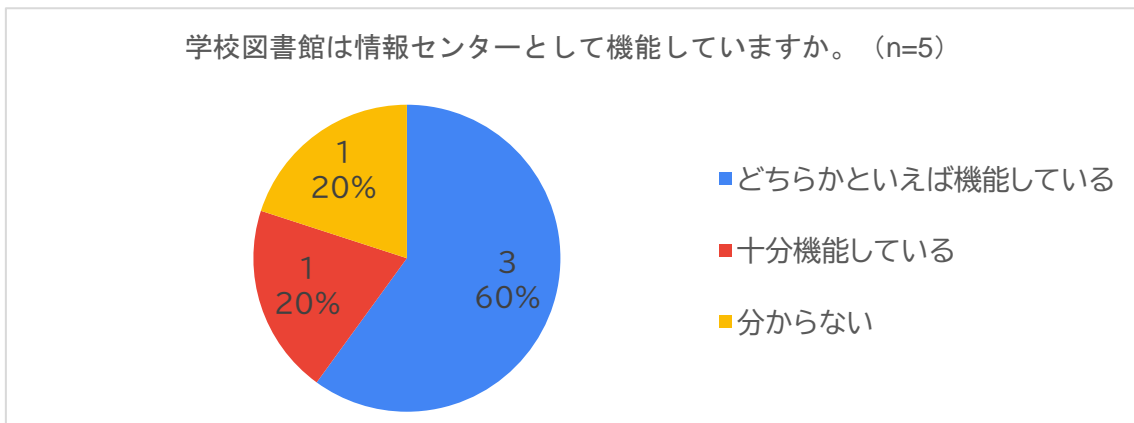
・学校図書館は「読書センター」「学習センター」「情報センター」の 3 つの機能を有しています。
 貴校の学校図書館は、読書センターとして機能していますか。



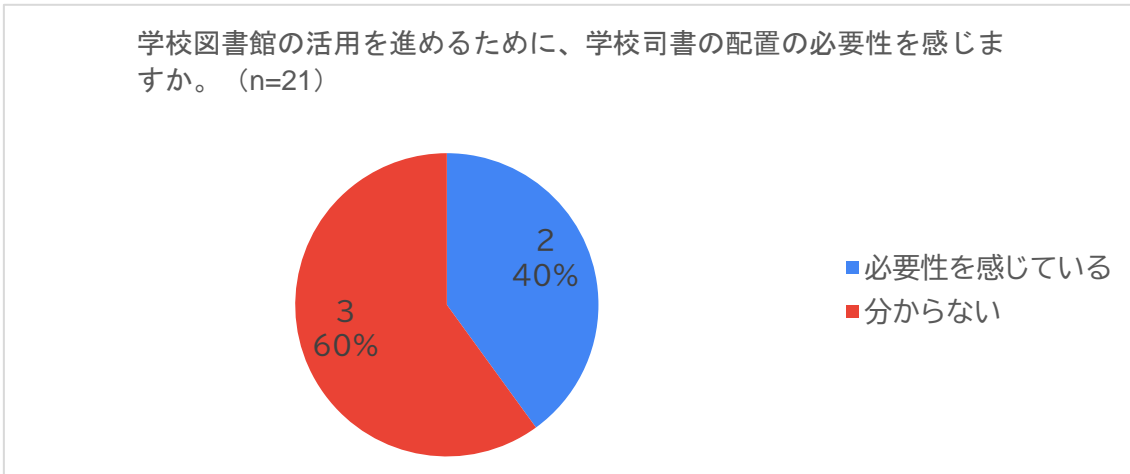
・貴校の学校図書館は学習センターとして機能していますか。



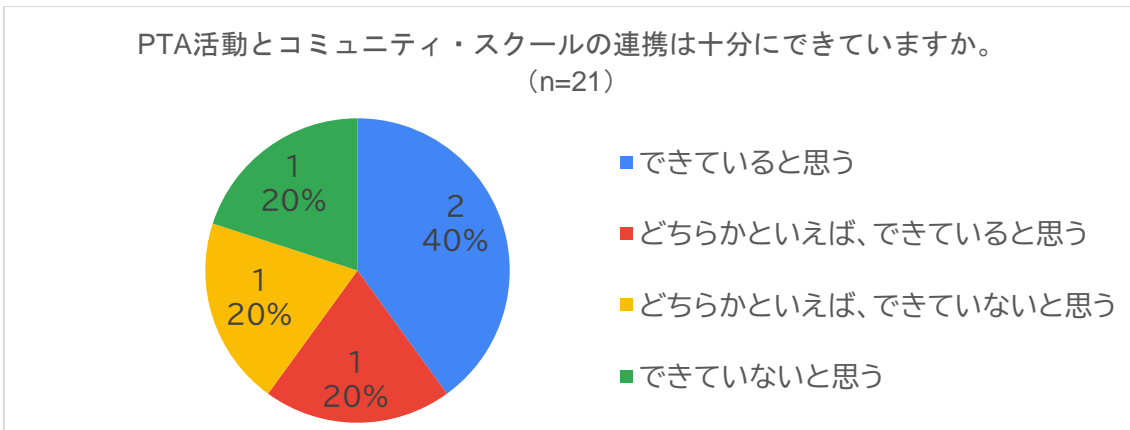
・貴校の学校図書館は情報センターとして機能していますか。



・学校図書館の活用を進めるために、学校司書の配置の必要性を感じますか。



・PTA 活動とコミュニティ・スクールの連携は十分にできていますか。



・「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」に関して、お悩みのこと、困っていることや今後の推進のために必要と感じている支援や仕組みについて教えてください。
(自由記述)

コロナが5類に移行されて、すべてがこれから始まる状態である。手探りの状態なので中学校の具体的な活動例を知りたい。
学校教育への地域人材の活用
幼・小・中・高校の連携強化について
学校と地域の間で、Win-Win の関係とすることの難しさ
まだ立ち上がったところなので、模索中。